

平成22年三重県消費者物価指数の動向

1 概 要

三重県…平成22年平均の三重県消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で100.9となり、前年に比べ0.5%の下落でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は100.6で、前年に比べ0.5%の下落でした。

全 国…平成22年平均の全国消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で99.6となり、前年に比べ0.7%の下落でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は99.7で、前年に比べ0.8%の下落でした。

平成11年からの三重県消費者物価指数の動きを総合指数で見ると、平成12年から平成14年までは下落しました。平成18年から平成20年までは毎年上昇し、平成21年、平成22年は下落しました。(図1、表1、統計表第1表)

図1 消費者物価指数及び対前年比

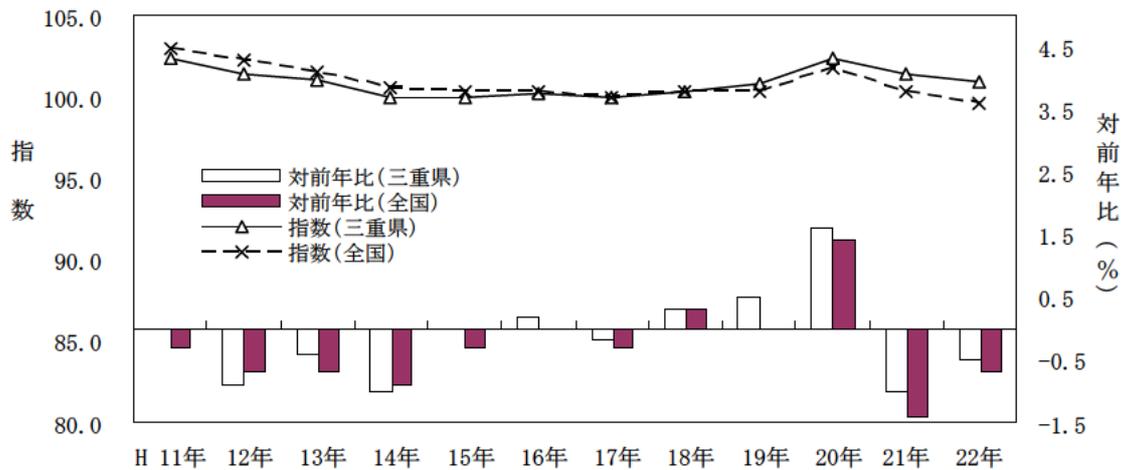


表1 総合指数と対前年比の推移

平成17年 = 100

	三重県				全国					三重県				全国			
	総合	対前年比 (%)	総合 (※)	対前年比 (%)	総合	対前年比 (%)	総合 (※)	対前年比 (%)		総合	対前年比 (%)	総合 (※)	対前年比 (%)	総合	対前年比 (%)	総合 (※)	対前年比 (%)
平成11年	102.3	0.0	103.1	-0.3	103.0	-0.3	103.7	-0.4	平成17年	100.0	-0.2	100.0	-0.2	100.0	-0.3	100.0	-0.4
平成12年	101.4	-0.9	102.1	-0.9	102.2	-0.7	102.8	-0.9	平成18年	100.3	0.3	100.3	0.3	100.3	0.3	100.3	0.3
平成13年	101.0	-0.4	101.4	-0.7	101.5	-0.7	101.8	-0.9	平成19年	100.8	0.5	100.7	0.4	100.3	0.0	100.4	0.1
平成14年	100.0	-1.0	100.4	-1.0	100.6	-0.9	100.7	-1.1	平成20年	102.4	1.6	102.5	1.8	101.7	1.4	102.0	1.6
平成15年	100.0	0.0	100.2	-0.2	100.3	-0.3	100.4	-0.3	平成21年	101.4	-1.0	101.1	-1.4	100.3	-1.4	100.5	-1.5
平成16年	100.2	0.2	100.2	0.0	100.3	0.0	100.4	0.0	平成22年	100.9	-0.5	100.6	-0.5	99.6	-0.7	99.7	-0.8

※ 持家の帰属家賃を除く総合：持家の帰属家賃は、持家の住宅を借家とみなした場合に支払われるであろう家賃を推計したもので、実際の市場価格ではないので、特にこれを除外した「持家の帰属家賃を除く総合指数」を示しています。

2 年間の動き

平成22年における三重県消費者物価の総合指数の動きについて、月別に対前月比及び対前年同月比をみると、次のとおりでした。(表2、表3、図2、統計表第2表)

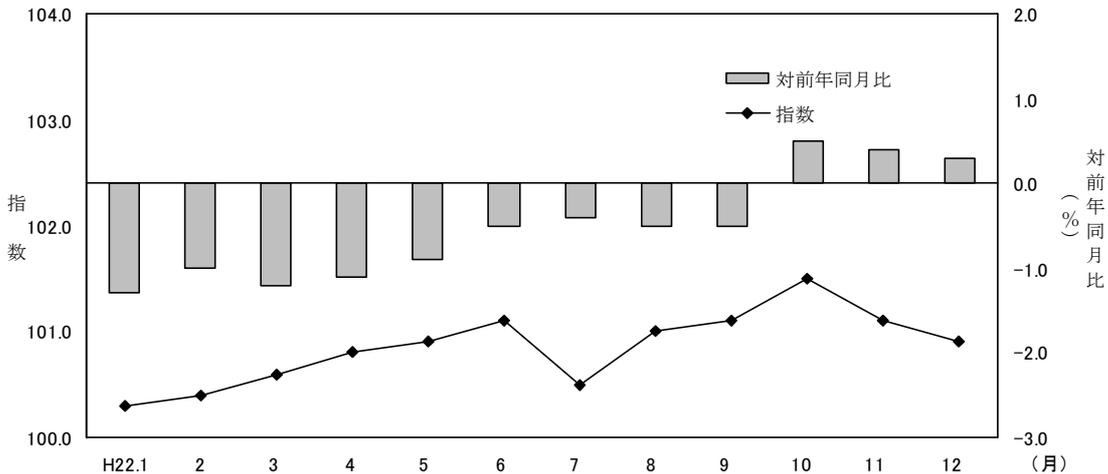
表2 三重県の総合指数・対前月比と主な変動費目

月	総合指数 (対前月比 (%))	上昇した 主な費目 (対前月比)		下落した 主な費目 (対前月比)		(参考)		
						全国総合指数 (対前月比 (%))	持家の帰属家賃を 除く総合 (対前月比 (%))	
							三重県	全国
1月	100.3 (-0.3)	野菜・海藻 8.1% 果物 4.2% ガス代 1.6%	衣料 -12.0% 他の被服類 -8.2% シャツ・セーター・下着類 -6.7%	99.4 (-0.2)	99.8 (-0.4)	99.4 (-0.3)		
2月	100.4 (0.1)	衣料 11.8% 他の光熱(灯油) 3.0% 乳卵類 1.7%	果物 -3.8% 教養娯楽用耐久財 -2.8% シャツ・セーター・下着類 -2.4%	99.3 (-0.1)	100.0 (0.2)	99.3 (-0.1)		
3月	100.6 (0.2)	他の被服類 3.8% 魚介類 1.8% 教養娯楽用耐久財 1.6%	家事用消耗品 -1.8% 他の光熱(灯油) -1.3% 調理食品 -1.0%	99.6 (0.3)	100.2 (0.2)	99.6 (0.3)		
4月	100.8 (0.2)	シャツ・セーター・下着類 9.0% 野菜・海藻 8.6% 他の光熱(灯油) 5.4%	授業料等 -13.6% 果物 -2.6% 肉類 -1.8% 教養娯楽用耐久財 -1.8%	99.6 (0.0)	100.5 (0.3)	99.6 (0.0)		
5月	100.9 (0.1)	果物 17.1% 他の光熱(灯油) 1.2% 教養娯楽サービス 1.1%	野菜・海藻 -4.1% 寝具類 -2.6% 菓子類 -1.9%	99.7 (0.1)	100.7 (0.2)	99.8 (0.2)		
6月	101.1 (0.2)	果物 12.3% 肉類 4.3% 調理食品 1.4%	シャツ・セーター・下着類 -2.8% 他の被服類 -1.5% 飲料 -1.4%	99.7 (0.0)	100.8 (0.1)	99.8 (0.0)		
7月	100.5 (-0.6)	寝具類 3.0% 飲料 1.5% 肉類 1.4%	果物 -15.2% シャツ・セーター・下着類 -4.4% 他の被服類 -3.6%	99.2 (-0.5)	100.3 (-0.5)	99.2 (-0.6)		
8月	101.0 (0.5)	果物 18.2% 野菜・海藻 5.4% 身の回り用品 3.0%	教養娯楽用耐久財 -3.5% 寝具類 -2.9% 家庭用耐久財 -2.2%	99.5 (0.3)	100.8 (0.5)	99.6 (0.4)		
9月	101.1 (0.1)	シャツ・セーター・下着類 7.3% 他の被服類 5.7% 果物 5.2%	穀類 -2.2% 交通 -2.1% 教養娯楽サービス -1.7%	99.8 (0.3)	100.9 (0.1)	100.0 (0.4)		
10月	101.5 (0.4)	たばこ 38.6% 他の諸雑費 8.0% 上下水道料 2.9%	魚介類 -3.0% 他の光熱(灯油) -1.4% 油脂・調味料 -1.3%	100.2 (0.4)	101.4 (0.5)	100.4 (0.4)		
11月	101.1 (-0.4)	寝具類 3.3% 油脂・調味料 2.2% 室内装備品 0.8%	果物 -8.3% 野菜・海藻 -3.8% 教養娯楽用品 -3.5%	99.9 (-0.3)	100.9 (-0.5)	100.0 (-0.4)		
12月	100.9 (-0.2)	教養娯楽用品 1.9% 乳卵類 1.0% 飲料 1.0%	野菜・海藻 -7.8% 身の回り用品 -3.2% 理美容用品 -1.6%	99.6 (-0.3)	100.8 (-0.1)	99.8 (-0.2)		

表3 三重県の総合指数・対前年同月比と主な変動費目

月	総合指数 (対前年同月比 (%))	上昇した 主な費目 (対前年同月比)		下落した 主な費目 (対前年同月比)		(参考)		
						全国総合指数 (対前年同月比 (%))	持家の帰属家賃を 除く総合 (対前年同月比 (%))	
							三重県	全国
1月	100.3 (-1.3)	教科書・学習参考教材 9.4% 衣料 5.6% 自動車等関係費 3.4%	教養娯楽用耐久財 -15.8% 電気代 -10.8% 家庭用耐久財 -8.7%	99.4 (-1.3)	99.8 (-1.6)	99.4 (-1.5)		
2月	100.4 (-1.0)	衣料 17.8% 他の光熱(灯油) 6.8% 野菜・海藻 5.7%	教養娯楽用耐久財 -18.6% 電気代 -10.2% 穀類 -8.7% 身の回り用品 -8.7%	99.3 (-1.1)	100.0 (-1.2)	99.3 (-1.3)		
3月	100.6 (-1.2)	他の光熱(灯油) 14.7% 衣料 9.8% 野菜・海藻 3.2%	教養娯楽用耐久財 -15.8% 電気代 -9.6% 家庭用耐久財 -7.8%	99.6 (-1.1)	100.2 (-1.5)	99.6 (-1.3)		
4月	100.8 (-1.1)	他の光熱(灯油) 16.6% 野菜・海藻 8.4% 果物 7.7%	教養娯楽用耐久財 -16.3% 授業料等 -13.3% 電気代 -12.2%	99.6 (-1.2)	100.5 (-1.3)	99.6 (-1.4)		
5月	100.9 (-0.9)	他の光熱(灯油) 18.4% 野菜・海藻 6.6% 衣料 4.5%	教養娯楽用耐久財 -14.3% 授業料等 -13.6% 家庭用耐久財 -10.7%	99.7 (-0.9)	100.7 (-1.0)	99.8 (-1.0)		
6月	101.1 (-0.5)	他の光熱(灯油) 18.1% 果物 13.3% 野菜・海藻 8.6%	教養娯楽用耐久財 -14.2% 授業料等 -13.6% 家庭用耐久財 -10.3%	99.7 (-0.7)	100.8 (-0.7)	99.8 (-0.8)		
7月	100.5 (-0.4)	他の光熱(灯油) 16.7% 衣料 10.0% 野菜・海藻 9.6%	教養娯楽用耐久財 -15.6% 授業料等 -13.6% 家庭用耐久財 -9.5%	99.2 (-0.9)	100.3 (-0.4)	99.2 (-1.0)		
8月	101.0 (-0.5)	他の光熱(灯油) 16.1% 衣料 11.6% 果物 7.2%	教養娯楽用耐久財 -16.5% 授業料等 -13.6% 家庭用耐久財 -11.5%	99.5 (-0.9)	100.8 (-0.3)	99.6 (-0.9)		
9月	101.1 (-0.5)	果物 22.8% 他の光熱(灯油) 12.6% 野菜・海藻 9.1%	教養娯楽用耐久財 -15.8% 授業料等 -13.6% 家庭用耐久財 -9.0%	99.8 (-0.6)	100.9 (-0.4)	100.0 (-0.6)		
10月	101.5 (0.5)	たばこ 38.6% 果物 23.5% 野菜・海藻 18.0%	教養娯楽用耐久財 -14.6% 授業料等 -13.6% 家庭用耐久財 -11.4%	100.2 (0.2)	101.4 (0.8)	100.4 (0.3)		
11月	101.1 (0.4)	たばこ 38.6% 果物 22.5% 野菜・海藻 15.6%	教養娯楽用耐久財 -14.7% 授業料等 -13.6% 家庭用耐久財 -11.9%	99.9 (0.1)	100.9 (0.7)	100.0 (0.2)		
12月	100.9 (0.3)	たばこ 38.6% 果物 21.2% 他の光熱(灯油) 9.8%	授業料等 -13.6% 教養娯楽用耐久財 -13.0% 家庭用耐久財 -10.7%	99.6 (0.0)	100.8 (0.6)	99.8 (0.1)		

図2 月別の動向 平成17年=100



3 費目別指数の動き

平成22年平均の三重県消費者物価指数は、公立高等学校の授業料無償化・高等学校等就学支援金制度が導入されたため、公立高校授業料及び私立高校授業料が大幅に下落していること、耐久消費財が引き続き下落していることなどにより、全体では前年に比べ0.5%の下落となりました。10大費目別に前年と比較すると、被服及び履物、交通・通信、諸雑費が上昇し、食料は前年と同水準で、住居、光熱・水道、家具・家事用品、保健医療、教育、教養娯楽が下落しました。(図3、表4、図4)

(1) 食料

食料は 103.2 となり、前年と同じでした。内訳をみると、前年に比べ上昇したのは、果物が 10.3%、野菜・海藻が 8.2%、菓子類が 1.8%、油脂・調味料が 0.5%、外食が 0.4% などでした。一方、下落したのは、穀類が 5.8%、魚介類が 3.5%、調理食品が 3.3%、肉類が 1.6%、飲料と酒類が 1.1% などでした。

生鮮食品についてみると、生鮮魚介は、各月とも平成 17 年の平均水準である 100 を上回って 105.5 となり、対前年比は 1.6% の下落でした。

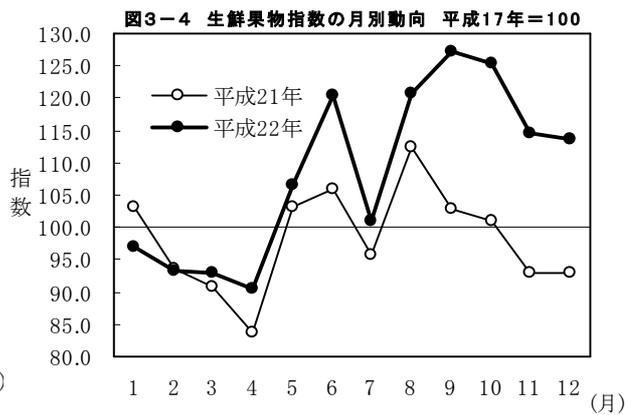
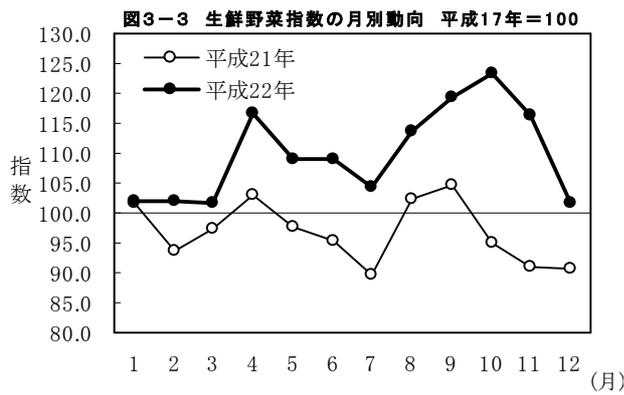
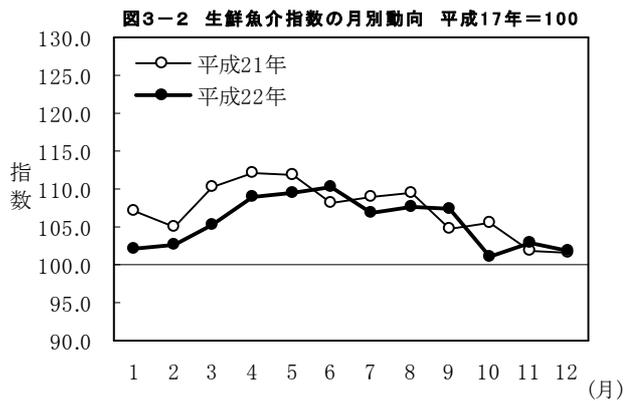
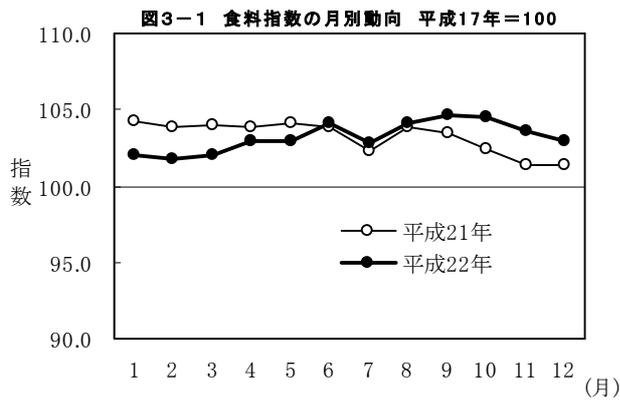
生鮮野菜は、110.0 となり、対前年比は 13.5% の上昇でした。

生鮮果物は、108.6 となり、対前年比は 10.6% の上昇でした。

表 4-1 食料の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成21年平均	平成22年平均	平成21年平均	平成22年平均
食料	103.2	103.2	0.1	0.0
穀類	106.3	100.1	0.3	-5.8
魚介類	106.1	102.4	-0.4	-3.5
生鮮魚介	107.2	105.5	-1.2	-1.6
肉類	103.4	101.7	-1.5	-1.6
乳卵類	105.7	105.7	0.3	0.0
野菜・海藻	99.9	108.1	-2.2	8.2
生鮮野菜	96.9	110.0	-4.2	13.5
果物	97.9	108.0	-3.7	10.3
生鮮果物	98.2	108.6	-3.8	10.6
油脂・調味料	101.7	102.2	-0.7	0.5
菓子類	108.2	110.2	3.9	1.8
調理食品	105.0	101.5	2.3	-3.3
飲料	94.2	93.2	-2.7	-1.1
酒類	98.3	97.2	0.2	-1.1
外食	103.3	103.7	0.9	0.4



(2) 住居

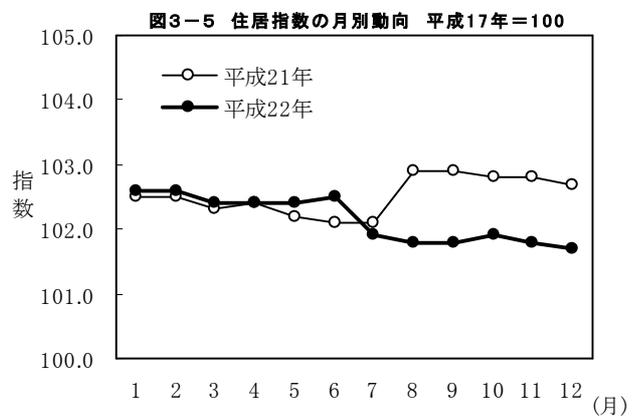
住居は102.2となり、前年に比べ0.3%の下落でした。

内訳をみると、設備修繕・維持が温水洗浄便座などの値下がりにより0.5%の下落、家賃が民営家賃（非木造小住宅）、持家の帰属家賃（非木造小住宅）のなどの値下がりにより0.3%の下落でした。

表4-2 住居の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成21年平均	平成22年平均	平成21年平均	平成22年平均
住居	102.5	102.2	0.6	-0.3
持家の帰属家賃を除く住居	101.1	100.7	-0.1	-0.4
家賃	102.5	102.2	0.7	-0.3
持家の帰属家賃を除く家賃	98.5	98.6	-0.2	0.1
設備修繕・維持	102.4	101.9	0.0	-0.5



(3) 光熱・水道

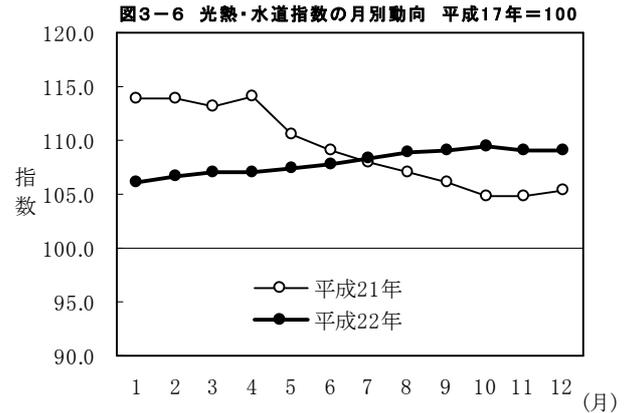
光熱・水道は108.0となり、前年に比べ1.2%の下落でした。

内訳をみると、他の光熱（灯油）が13.1%の上昇、上下水道料が1.7%の上昇、電気代が4.3%の下落、ガス代が0.5%の下落でした。

表4-3 光熱・水道の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均＝100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成21年平均	平成22年平均	平成21年平均	平成22年平均
光熱・水道	109.3	108.0	-2.7	-1.2
電気代	108.3	103.6	1.1	-4.3
ガス代	112.9	112.3	-3.4	-0.5
他の光熱	106.0	119.9	-32.8	13.1
上下水道料	107.0	108.8	1.9	1.7



(4) 家具・家事用品

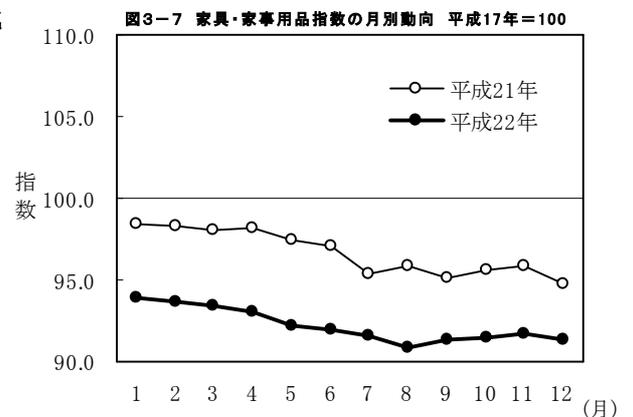
家具・家事用品は92.2となり、前年に比べ4.7%の下落でした。

内訳をみると、家庭用耐久財が電気冷蔵庫、電気掃除機などの値下がりにより9.7%の下落、家事用消耗品が4.0%の下落、室内装備品が2.9%の下落、家事雑貨が2.4%の下落、寝具類が1.6%の下落、家事サービスは前年と同じでした。

表4-4 家具・家事用品の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均＝100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成21年平均	平成22年平均	平成21年平均	平成22年平均
家具・家事用品	96.7	92.2	-1.5	-4.7
家庭用耐久財	86.2	77.8	-2.9	-9.7
室内装備品	93.1	90.4	-4.7	-2.9
寝具類	100.7	99.1	-1.9	-1.6
家事雑貨	101.7	99.3	-1.2	-2.4
家事用消耗品	104.8	100.6	0.1	-4.0
家事サービス	108.2	108.2	1.6	0.0



(5) 被服及び履物

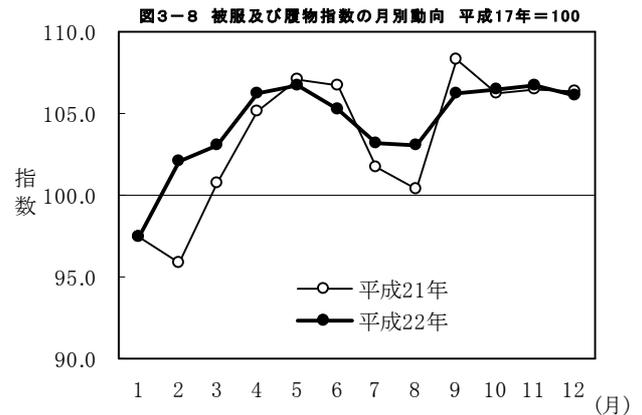
被服及び履物は104.4となり、前年に比べ0.9%の上昇でした。

内訳をみると、衣料が婦人スーツ（春夏物）などの値上がりにより6.3%の上昇、他の被服類がマフラーなどの値下がりにより5.3%の下落、シャツ・セーター・下着類が5.0%の下落、履物類が1.2%の下落、被服関連サービスが0.2%の下落でした。

表4-5 被服及び履物の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均＝100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成21年平均	平成22年平均	平成21年平均	平成22年平均
被服及び履物	103.5	104.4	-0.2	0.9
衣料	104.6	111.2	-0.9	6.3
シャツ・セーター・下着類	103.0	97.9	0.4	-5.0
履物類	105.8	104.5	2.8	-1.2
他の被服類	96.2	91.1	-1.8	-5.3
被服関連サービス	104.6	104.4	0.5	-0.2



(6) 保健医療

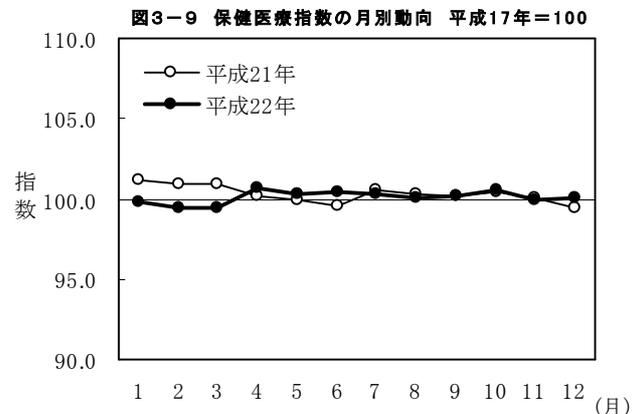
保健医療は100.1となり、前年に比べ0.2%の下落でした。

内訳をみると、保健医療サービスが出産入院料（公立）などの値上がりにより1.0%の上昇、保健医療用品・器具が3.1%の下落、医薬品・健康保持用摂取品が0.8%の下落でした。

表4-6 保健医療の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均＝100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成21年平均	平成22年平均	平成21年平均	平成22年平均
保健医療	100.3	100.1	0.0	-0.2
医薬品・健康保持用摂取品	94.7	93.9	-2.2	-0.8
保健医療用品・器具	98.5	95.4	-1.4	-3.1
保健医療サービス	104.0	105.0	1.7	1.0



(7) 交通・通信

交通・通信は98.7となり、前年に比べ1.0%の上昇でした。

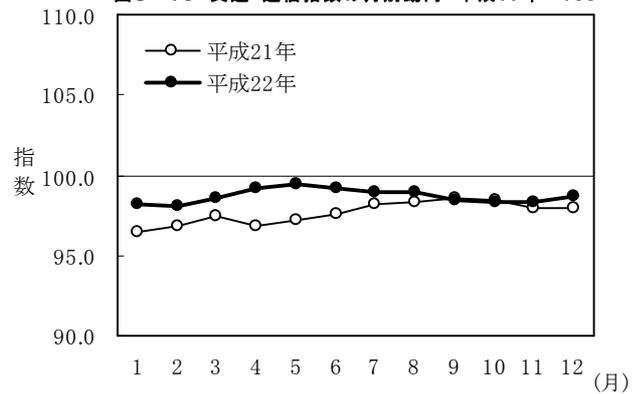
内訳をみると、自動車等関係費がガソリンの値上がりなどにより2.1%の上昇、交通が0.9%の下落、通信が0.8%の下落でした。

表4-7 交通・通信の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成21年平均	平成22年平均	平成21年平均	平成22年平均
交通・通信	97.7	98.7	-5.1	1.0
交通	98.4	97.5	-1.6	-0.9
自動車等関係費	98.6	100.7	-7.3	2.1
通信	94.4	93.6	-0.3	-0.8

図3-10 交通・通信指数の月別動向 平成17年=100



(8) 教育

教育は97.0となり、前年に比べ7.4%の下落でした。

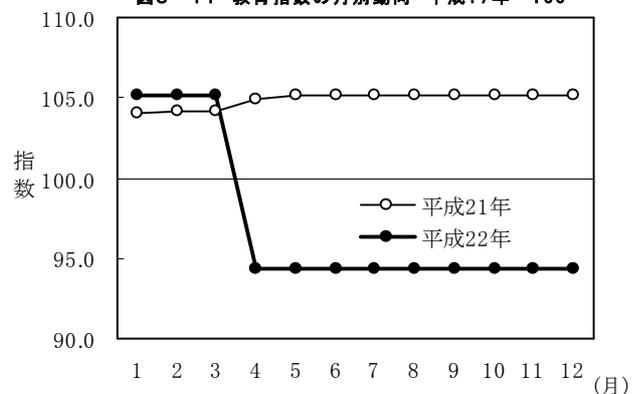
内訳をみると、教科書・学習参考教材が0.9%の上昇、授業料等が公立高校授業料及び私立高校授業料の値下がりにより9.9%の下落、補習教育が0.1%の下落でした。

表4-8 教育の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成21年平均	平成22年平均	平成21年平均	平成22年平均
教育	104.8	97.0	1.1	-7.4
授業料等	105.2	94.8	1.2	-9.9
教科書・学習参考教材	111.3	112.3	8.6	0.9
補習教育	103.1	103.0	0.1	-0.1

図3-11 教育指数の月別動向 平成17年=100



(9) 教養娯楽

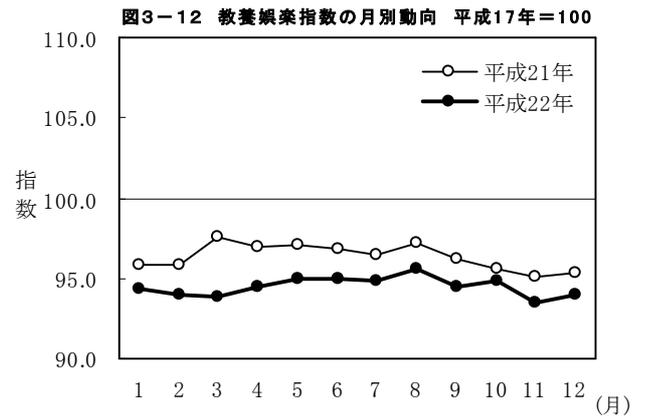
教養娯楽は 94.5 となり、前年に比べ 1.9% の下落でした。

内訳をみると、書籍・他の印刷物が 0.2% の上昇、教養娯楽用耐久財がパソコン（デスクトップ型）、パソコン（ノート型）、カメラなどの値下がりにより 15.3% の下落、教養娯楽用品が 3.9% の下落、教養娯楽サービスが 0.6% の下落でした。

表 4-9 教養娯楽の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均＝100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成21年平均	平成22年平均	平成21年平均	平成22年平均
教養娯楽	96.3	94.5	-0.8	-1.9
教養娯楽用耐久財	43.7	37.0	-17.9	-15.3
教養娯楽用品	102.4	98.4	0.2	-3.9
書籍・他の印刷物	102.1	102.3	0.2	0.2
教養娯楽サービス	101.7	101.1	0.0	-0.6



(10) 諸雑費

諸雑費は 101.2 となり、前年に比べ 1.0% の上昇でした。

内訳をみると、たばこが 9.6% の上昇、他の諸雑費が障害保険料などの値上がりにより 2.0% の上昇、身の回り用品が 3.2% の下落、理美容用品は 1.2% の下落、理美容サービスは前年と同水準でした。

表 4-10 諸雑費の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均＝100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成21年平均	平成22年平均	平成21年平均	平成22年平均
諸雑費	100.2	101.2	-1.1	1.0
理美容サービス	102.3	102.3	0.0	0.0
理美容用品	93.6	92.5	-2.4	-1.2
身の回り用品	106.0	102.6	-3.7	-3.2
たばこ	109.2	119.7	0.0	9.6
他の諸雑費	98.3	100.3	-0.1	2.0

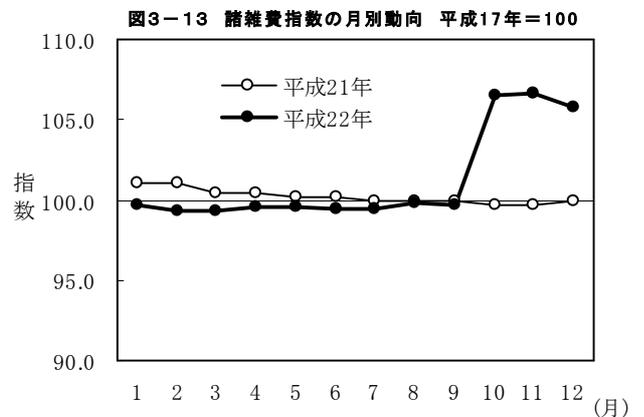
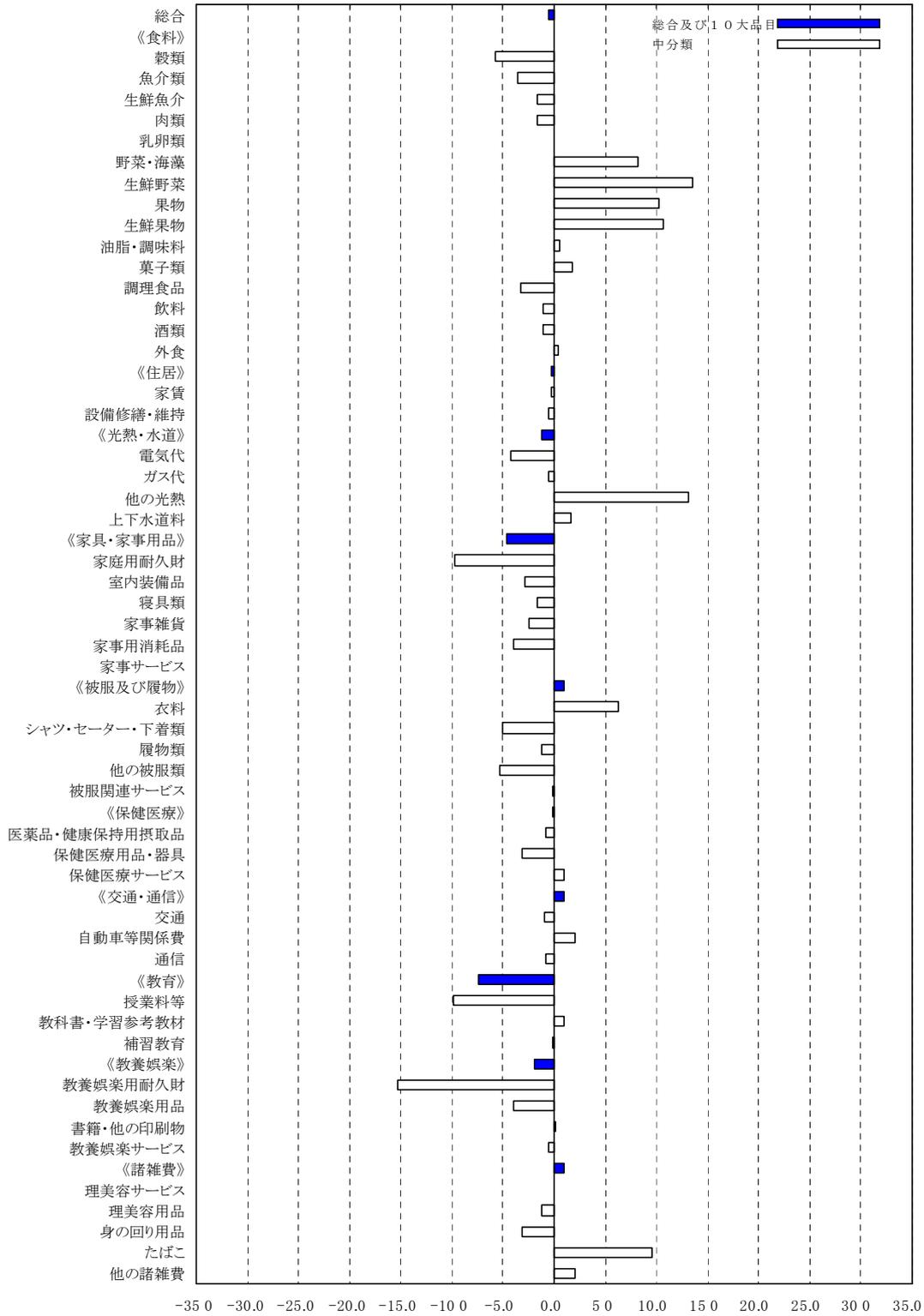


図4 費目別対前年比 (%)

平成17年=100



※ 二重括弧は10大費目を示しています。

4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とは、その費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率とは、総合の上昇率に占める各費目の寄与度（上昇率の割合）を 100 分比（各費目の寄与度（上昇率の割合）÷総合の上昇率×100）で表すものです。

平成22年三重県消費者物価指数の総合指数に影響を及ぼした寄与度を主な中分類別費目でみると、物価を押し上げる方向に働いた費目として、野菜・海藻（0.21）や自動車等関係費（0.21）、衣料（0.14）などが挙げられます。一方、物価を引き下げる方向に働いた費目としては、授業料等（-0.24）、電気代（-0.14）、穀類（-0.13）などが挙げられます。各費目の合計の結果、全体の寄与度は -0.50（＝総合指数の上昇率が -0.5%）となりました。

（表 5、図 5）

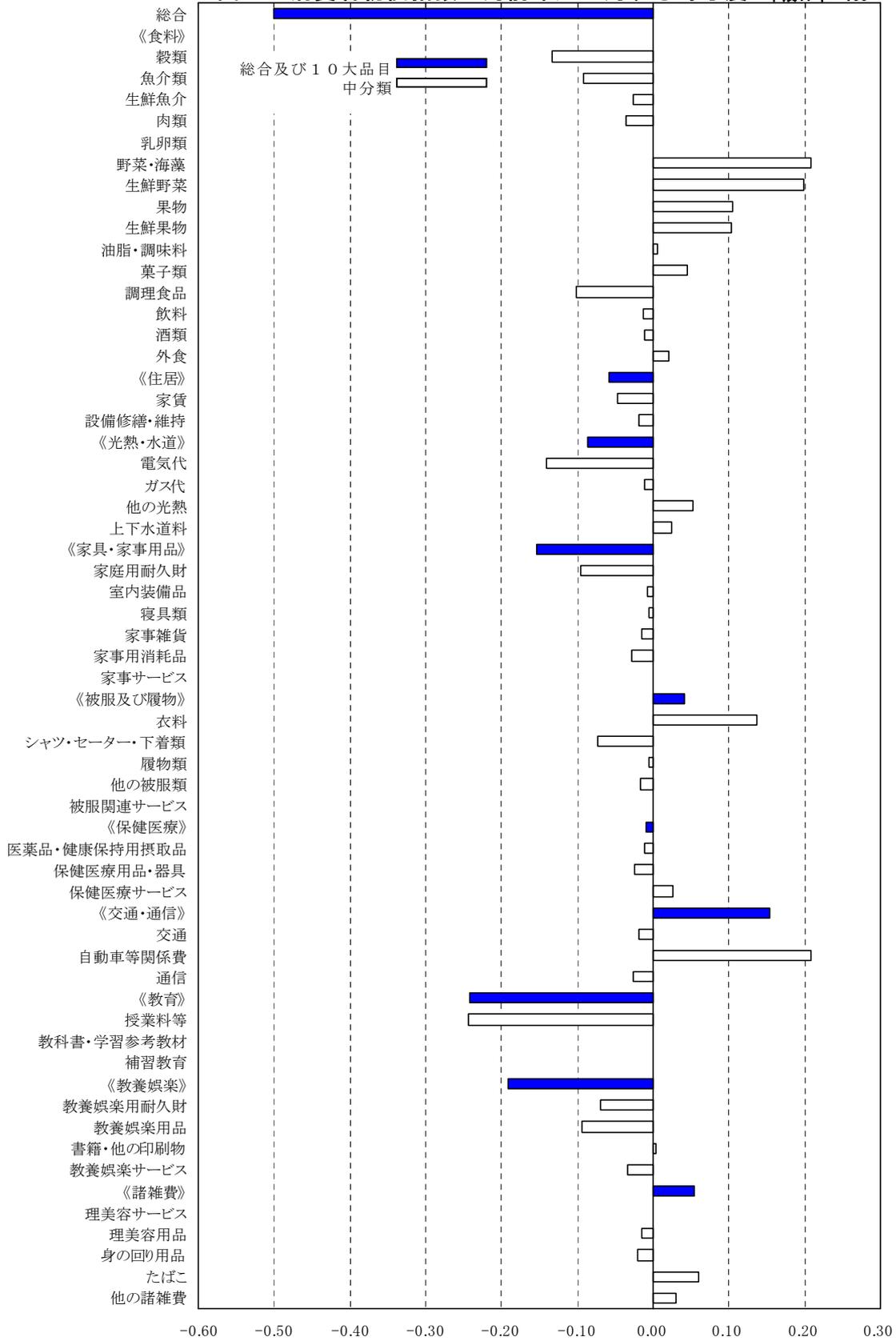
表5 中分類寄与度・寄与率

指数：平成17年平均＝100

	指 数		寄与度	寄与率(%)
	平成21年 平均	平成22年 平均	平成22年 平均	平成22年 平均
総 合	101.4	100.9	-0.50	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	101.1	100.6	-0.42	84.2
食 料	103.2	103.2	0.00	0.0
穀 類	106.3	100.1	-0.13	26.5
魚 介 類	106.1	102.4	-0.09	18.5
生 鮮 魚 介 類	107.2	105.5	-0.03	5.2
肉 類	103.4	101.7	-0.03	7.0
乳 卵 類	105.7	105.7	0.00	0.0
野 菜 ・ 海 藻	99.9	108.1	0.21	-41.6
生 鮮 野 菜	96.9	110.0	0.20	-39.8
果 物	97.9	108.0	0.10	-20.9
生 鮮 果 物	98.2	108.6	0.10	-20.5
油 脂 ・ 調 味 料	101.7	102.2	0.00	-1.0
菓 子 類	108.2	110.2	0.04	-8.9
調 理 食 品	105.0	101.5	-0.10	20.2
飲 料	94.2	93.2	-0.01	2.7
酒 類	98.3	97.2	-0.01	2.3
外 食	103.3	103.7	0.02	-4.3
住 居	102.5	102.2	-0.06	11.8
持家の帰属家賃を除く住居	101.1	100.7	-0.02	4.1
家 賃	102.5	102.2	-0.05	9.5
持家の帰属家賃を除く家賃	98.5	98.6	0.00	-0.3
設 備 修 繕 ・ 維 持	102.4	101.9	-0.02	3.8
光 熱 ・ 水 道	109.3	108.0	-0.09	17.1
電 気 代	108.3	103.6	-0.14	28.3
ガ ス 代	112.9	112.3	-0.01	2.2
他 の 光 熱	106.0	119.9	0.05	-10.4
上 下 水 道 料	107.0	108.8	0.02	-4.9
家 具 ・ 家 事 用 品	96.7	92.2	-0.15	30.8
家 庭 用 耐 久 財	86.2	77.8	-0.10	19.0
室 内 装 備 品	93.1	90.4	-0.01	1.5
寝 具 類	100.7	99.1	-0.00	0.9
家 事 雑 貨	101.7	99.3	-0.02	3.1
家 事 用 消 耗 品	104.8	100.6	-0.03	5.5
家 事 サ ー ビ ス	108.2	108.2	0.00	0.0
被 服 及 び 履 物	103.5	104.4	0.04	-8.2
衣 料	104.6	111.2	0.14	-27.3
シャツ・セーター・下着類	103.0	97.9	-0.07	14.8
履 物 類	105.8	104.5	-0.01	1.2
他 の 被 服 類	96.2	91.1	-0.02	3.4
被 服 関 連 サ ー ビ ス	104.6	104.4	-0.00	0.1
保 健 医 療	100.3	100.1	-0.01	1.9
医 薬 品 ・ 健 康 保 持 用 撰 取 品	94.7	93.9	-0.01	2.2
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	98.5	95.4	-0.02	4.8
保 健 医 療 サ ー ビ ス	104.0	105.0	0.03	-5.2
交 通 ・ 通 信	97.7	98.7	0.15	-30.6
交 通	98.4	97.5	-0.02	3.6
自 動 車 等 関 係 費	98.6	100.7	0.21	-41.5
通 信	94.4	93.6	-0.03	5.4
教 育	104.8	97.0	-0.24	48.3
授 業 料 等	105.2	94.8	-0.24	48.8
教 科 書 ・ 学 習 参 考 教 材	111.3	112.3	0.00	-0.1
補 習 教 育	103.1	103.0	-0.00	0.1
教 養 娛 楽	96.3	94.5	-0.19	38.4
教 養 娛 楽 用 耐 久 財	43.7	37.0	-0.07	13.7
教 養 娛 楽 用 品	102.4	98.4	-0.09	18.6
書 籍 ・ 他 の 印 刷 物	102.1	102.3	0.00	-0.6
教 養 娛 楽 サ ー ビ ス	101.7	101.1	-0.03	6.9
諸 雑 費	100.2	101.2	0.05	-10.7
理 美 容 サ ー ビ ス	102.3	102.3	0.00	0.0
理 美 容 用 品	93.6	92.5	-0.01	2.9
身 の 回 り 用 品	106.0	102.6	-0.02	4.2
た ば こ	109.2	119.7	0.06	-12.0
他 の 諸 雑 費	98.3	100.3	0.03	-6.1

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

図5 消費者物価指数の対前年比に対する寄与度 平成17年=100

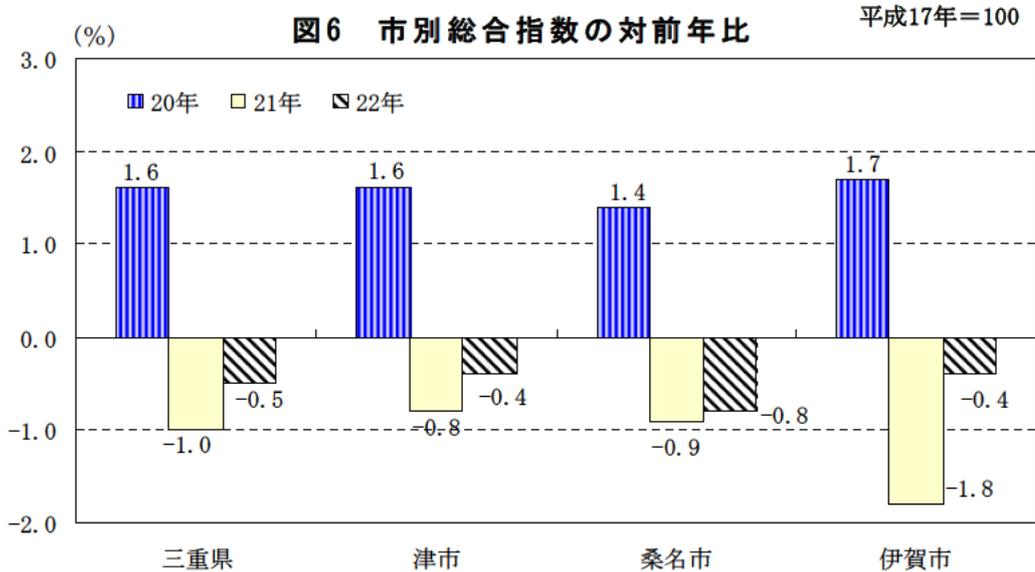


※ 二重括弧は10大費目を示しています。

5 各市の動き

県内3市の消費者物価指数の動きを対前年比で見ると、津市*で-0.4%、桑名市*で-0.8%、伊賀市*で-0.4%でした。

(図6、表6)



(内訳)

3市ともに被服及び履物、交通・通信、諸雑費が上昇し、家具・家事用品、教育、教養娯楽が下落しました。

市別にみると、津市では、被服及び履物が1.1%の上昇で3市中最大の上昇幅となっています。また、住居が0.8%の下落で3市中最大の下落幅となっています。

桑名市では、食料が0.5%の下落、光熱・水道が1.6%の下落、教育が10.7%の下落で3市中最大の下落幅となっています。

伊賀市では、諸雑費が1.6%の上昇で3市中最大の上昇幅となっています。また、家具・家事用品が5.8%の下落、保健医療が1.3%の下落で3市中最大の下落幅となっています。

表6 都市別10大費目別対前年比

(単位: %)

	総合	持家 除く 総 家賃 を 合	食 料	住 居	光 熱 ・ 水 道	家 具 ・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
津市	-0.4	-0.4	0.3	-0.8	-1.5	-4.6	1.1	-0.1	1.1	-8.0	-1.7	0.9
桑名市	-0.8	-0.9	-0.5	0.0	-1.6	-4.8	0.6	0.1	0.9	-10.7	-2.2	1.0
伊賀市	-0.4	-0.5	-0.2	-0.1	0.3	-5.8	0.7	-1.3	1.1	-3.8	-2.2	1.6

* 時系列での変動を比較するため、平成11年以降の旧合併特例法による合併前の旧市地域での調査としています。